

令和 6 年 1 月 16 日  
総務常任委員会資料

# 令和 6 年度当初予算要求概要について

総務部

# Contents

## Chapter01 令和6年度重要施策体系表

令和6年度重要施策体系表	03
--------------	----

## Chapter02 令和6年度重要施策

県民目線での行政運営の推進	05
持続可能な行財政基盤の確立	07
県政を支える職員の育成と新しい働き方の推進	09
県有財産の有効活用と県政情報の公開等の推進	10
元町地域の活性化の推進	12
兵庫の個性と特色を生かした教育の振興	13
地域における躍動する兵庫の推進	19

## Chapter03 令和6年度予算要求額

令和6年度予算要求一覧表（一般会計）	20
令和6年度予算要求額の概要（一般会計主要事項）	21
令和6年度予算要求一覧表（特別会計）	26
令和6年度予算要求額の概要（特別会計主要事項）	27



# 令和6年度重要施策体系表

(単位：千円)

県民目線での行政運営の推進 (542,307)	効果的な情報発信 (453,493)	戦略的な広報活動の推進	(430,068)
		全庁広報力の充実強化	(23,425)
	多様な県民ニーズの把握 (88,814)	多様な広聴ツールの活用	(87,996)
		若者との対話の充実	(818)
持続可能な行財政基盤の確立 (4,628,671)	市町が行財政基盤確立への支援 (4,628,671)	県と市町の連携推進	(480,700)
		市町の自律的運営への支援	(3,907,223)
		社会保障・税番号制度の推進	(240,748)
県政を支える職員の育成と 新しい働き方の推進 (658,199)	適正な人事管理と働きやすい 職場づくり (658,199)	人材育成と新しい働き方の推進	(93,528)
		職員の健康管理の推進	(564,671)
県有財産の有効活用と県政 情報の公開等の推進 (5,766,066)	県有財産の適正管理と有効活用 (5,487,304)	公共施設等の適正管理の推進	(5,436,709)
		県有財産の有効活用	(50,595)
	公文書の管理・県政情報の公開等 の推進 (278,762)	適正かつ効率的な公文書の管理の推進	(235,107)
		県政情報の公開等の推進	(43,655)

# 令和6年度重要施策体系表

(単位：千円)

元町地域の活性化の推進 (7,295)	元町地域の魅力向上の推進 (7,295)	元町周辺まちづくりの検討 (7,295)
兵庫の個性と特色を生かした 教育の振興 (43,227,181)	私立学校教育の振興 (32,694,308)	私立学校の運営支援 (21,753,227)
		私立学校生徒の就学支援の推進 (9,462,299)
		少子対策への支援 (1,478,782)
	兵庫県公立大学法人への 運営支援と高等教育の負 担軽減 (10,484,343)	兵庫県立大学運営への支援 (9,072,431)
		芸術文化観光専門職大学運営への支援 (893,397)
		県立大学の授業料等無償化 (518,515)
	県内大学との連携強化 (48,530)	県内大学との連携・大学間交流の促進 (48,530)
地域における躍動する兵庫の 推進 (950,000)		県民局・県民センターにおける 施策の展開 (950,000)



## 効果的な情報発信

(単位：千円)

所要経費の 要求額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
453,493	0	34,029	0	419,464

### 1 戦略的な広報活動の推進 (430,068千円)

#### (1) トップセールスによる情報発信の強化

知事定例記者会見の開催（ライブ配信）に加え、会議、視察などを可能な限り公開し、その後の報道機関からの取材にも積極的に対応する。



【知事定例記者会見の様子】



【視察時の様子】

#### (2) 効果的な広報媒体の活用

テレビやラジオ、広報紙等の既存媒体の活用を継続するほか、SNS等時流を捉えた広報手法を活用し、県の魅力を発信する。

また、大阪・関西万博の開幕を目前に控え、五国それぞれのフィールドパビリオンを紹介する放送や、ラジオ番組とSNS等のメディアミックスによる情報発信に取り組むなど、各媒体の強みを活かして、各世代に向け効果的に情報を発信する。

##### 【各種広報事業の概要】

媒体名	番組名等	頻度等	概 要
広報紙	県民だよりひょうご	月1回	毎月発行の特性を生かし、県政の多分野にわたる施策や事業、県内各地の魅力、イベント情報など県民生活に密着した話題を広く発信
テレビ	県民情報番組 「ひょうご発信！」	月3、4回	身近なTV放映の特性を生かし、県政や県の魅力（フィールドパビリオン、観光地、特産品等）をテンポよく分かりやすく紹介する情報番組を提供
ラジオ	未定（R5：兵庫県情報コーナー「GO!HYOGO！」）	月2回 (毎月第2、4週)	県内各地の取組みをはじめ、スポーツや文化、食などについて、パーソナリティが現地取材を行い、ラジオに加えビジュアル発信に強いSNSも活用し情報を発信
インターネット	HP、SNS(X(旧Twitter)、Facebook、Instagram)	随時更新	速報性、双方向性、拡散性、掲載できる情報量の多さなどの特性を生かし、多様な県政情報等を、迅速かつきめ細かく発信

### 2 全庁広報力の充実強化 (23,425千円)

#### (1) 専門人材の活用

専門人材を活用し、各種施策の広報手法や刊行物のデザイン等の相談・助言、広報マインド醸成に向けた実践的な研修に取り組み、全庁的な情報発信力の強化を図る。

#### (2) 県民との協働による情報発信力強化 新

県の魅力や県政情報について、一般県民や学生の参画を得て県民目線での情報発信を行う「多様な地域人材の参画による県政発信強化プロジェクト」を実施する

## 多様な県民ニーズの把握

(単位：千円)

所要経費の 要 求 額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
88,814	741	886	0	87,187



### 1 多様な広聴ツールの活用（87,996千円）

県民との対話を積極的に推進し、意見・提言を県政に反映していくため、「県民意識調査」や「県民モニター」、「さわやか提案箱」などの多様なチャンネルを通じて県民の意向を把握するとともに、県民相談事業の円滑な運営に努め、県民ニーズへの迅速な対応を図る。

【広聴ツールの概要】

事業名	概 要
県民意識調査	県民の価値観や行動志向、県政へのニーズなど県民意識の基本的な経年変化を大きな潮流として捉え、県の政策形成、施策運営に反映 ▶ 調査対象：5,000人（無作為抽出） ▶ 調査方法：郵送（回答は紙とWEBの併用）
県民モニター	「県民モニター」を一般募集し、県民に身近な課題についてインターネットを利用して意見を聴取 ▶ 対 象：県内在住・在勤・在学で県政に関心を有する18歳以上の者 ▶ 登録者数：2,548人（R5.11月末） ▶ 内 容：WEB上でアンケート調査に回答 ▶ 調査回数：年4回
さわやか提案箱	県のホームページに、県政に関する意見、提案等に電子メールで対応するメールボックスを開設

### 2 若者との対話の充実（818千円）

県内の大学生・専門学校生・高校生等と知事が自由に意見交換する「学生未来会議」の場を活用し、学生を取り巻く様々な課題を把握するとともに、若者の自由な発想による意見・提案を県政へ反映させる。



【専門学校生（R5.3.6）】



【兵庫県立大学生（R5.7.5）】

## 市町が行財政基盤確立への支援

(単位：千円)

所要経費の 要求額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
4,628,671	80,600	3,720,226	0	827,845



### 1 県と市町の連携の推進（480,700千円）

県・市町懇話会等を活用し、地域の課題について協議及び意見交換を行い、県及び市町がそれぞれの役割や機能を果たしながら連携を一層密にし、相互に効率的、効果的な施策展開を図る。

【主な協議の場】

名 称	対 象	議題例
県・市町懇話会	県内全市町長	新年度予算、大阪・関西万博に向けた取組の推進等
県・市長会・町村会政策懇話会	市長会及び町村会役員	県政改革方針関連事業等
県・神戸市調整会議	神戸市長・神戸市会正副議長	三宮・元町周辺の再整備に係る連携推進等

### 2 市町の自律的運営への支援（3,907,223千円）

持続可能な地域社会の実現に向けた行財政運営、地域活性化施策に関する財源確保、ふるさと納税の適正な運用と地域資源認定の活用、公務員制度の適正な運用及び公営企業の経営改革の推進などについて、情報提供、研修その他助言等を行い、自律的かつ持続的な行財政運営を支援する。

#### (1) 躍動する兵庫応援事業（県・市町連携枠）

【躍動する兵庫応援事業（R5～R7）の制度概要】

県の重点施策と連動した市町単独施策をハード・ソフトの制限なく支援し、市町の政策選択の自由度を高め、県と市町双方に事業効果の発現を図る。

&lt;参考&gt; 令和5年度の状況

○申請状況

対象市町数：35市町 対象事業数：167事業  
補助額：計3億円

○主な対象事業

- ・脱炭素化の推進（脱炭素化推進事業者への支援・認定）【相生市】
- ・2025大阪・関西万博に向けた取組（徳島空港バス実証運行事業）【南あわじ市】
- ・地域の魅力向上（情報発信トラックを活用した情報発信）【市川町】

配分 スキーム	県・市町連携枠 3億円程度	多自然地域支援枠 (持続可能な多自然地域づくりプロジェクト) 1.5億円程度
県・市町 連携枠	①補助対象事業 県重点施策と連動した市町単独事業 ②補助対象 政令・中核市を除く一般市町（普通交付税不交付団体を除く） ③補助率（申請団体の財政力指数に応じて設定） 0.4未満：2/3、0.4以上0.8未満：1/2、0.8以上：1/3 ④補助事業費申請上限額 1市町あたり20,000千円(事業数制限なし)	



徳島空港バス実証運行事業  
【南あわじ市】

## 市町の行財政基盤確立への支援



### (2) 衛星画像による広域漏水調査支援事業 **新**

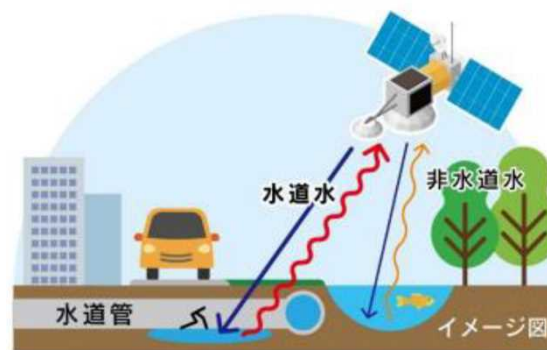
県と市町（公営水道事業体）の連携事業として、衛星画像のAI解析により漏水が疑われる管路を判定するデジタル技術を共同導入し、水道管路の適切な予防保全と有収率の改善を図る。

#### 【参加団体】

希望する県内公営水道事業体（27事業体（予定））

#### 【事業の特長】

- ・漏水調査の工程を効率化し、管路の保全・更新を推進
- ・県が一括で委託契約を行い、各事業体の事務負担を軽減
- ・デジタル田園都市国家構想交付金（補助率1/2）を活用し、各事業体の財政負担を抑制



図面提供：ジャパン・トゥエンティワン株式会社

#### ◆デジタル技術の概要

人工衛星から地表へマイクロ波を射出し、水道水特有の反射波を独自アルゴリズムとAIで解析することで、地中3m程度までの漏水を半径100m円の範囲で抽出。

設備投資や機器の設置が不要で、天候や昼夜に左右されず短期間に広範囲を調査可能。

### (3) 市町連携の推進

市町が参加する「市町連携の推進に係る検討会議」のもと、特定の業務分野での市町連携の実現に向けワーキンググループ（公共施設マネジメント、AIチャットボット、共同購入、入札参加資格審査の4分野）での検討を進める。

## 3 社会保障・税番号制度の推進（240,748千円）

県民へのマイナンバーカードの普及が一定程度進んだことから、今後のマイナンバーカードの日常的な利活用シーンの拡大（健康保険証との一体化等）を見据え、マイナンバーカードの利活用や普及について周知広報を積極的に展開する。

#### 【マイナンバーカード保有率】

保有率（R5.11月末）	
兵庫県	全国平均
73.6%	72.8%





## 適正な人事管理と働きやすい 職場づくり

(単位：千円)

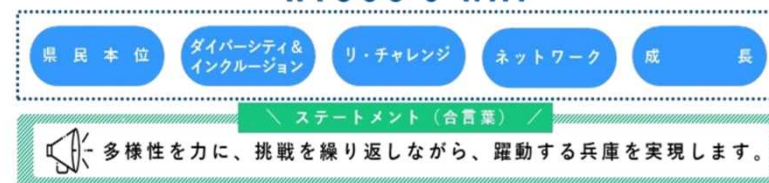
所要経費の 要求額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
658,199	0	179,086	157,500	321,613

### 1 人材育成と新しい働き方の推進 (93,528千円)

#### (1) 「兵庫県人材マネジメント方針」に基づいた人材育成の推進

人事施策全般を一貫した考え方の下に整備するための基本的な方向性や全職員が共有する価値観と行動指針「HYOGO's WAY」を定めた「兵庫県人材マネジメント方針」(R5.3月策定)に基づき、職員のキャリア開発の支援やエンゲージメント向上の取組、職員研修の充実等を進める。

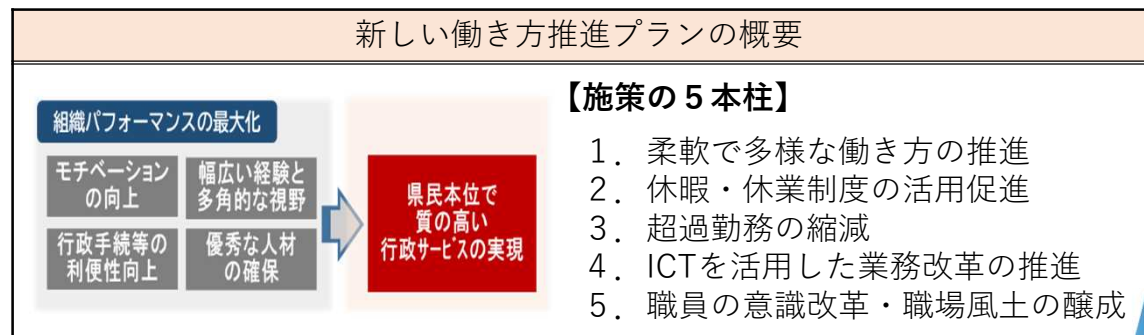
#### HYOGO's WAY



#### (2) 新しい働き方推進プランに基づく取組

組織パフォーマンスを最大化し、県民本位で質の高い行政サービスを実現するため、「新しい働き方推進プラン」(R5.2月策定)に基づき、テレワークの更なる活用をはじめとした柔軟で多様な働き方の推進や休暇・休業制度の活用促進等に取り組む。

#### 新しい働き方推進プランの概要



### 2 職員の健康管理の推進 (564,671千円)

#### (1) 健康を保持する取組の推進

職員一人ひとりが心身両面にわたり健康で職務を遂行できるよう、生活習慣病対策に重点を置いた健康診断・がん検診を実施し、診断結果を踏まえた保健指導を行う。

こころの健康対策としては、ストレスチェックを実施するとともに、心身の不調を感じた場合に身近に相談できる「健康なやみ相談室」の運営、メンタルヘルス研修を実施する。あわせて、療養職員が早期に職場復帰できるよう、職場や自治研修所等であらし出勤を実施する等、医師や保健師との連携により、職員本人や所属に対する支援強化に取り組む。

#### (2) 福利厚生の実施

職員が意欲を持って公務に従事できるよう、福利厚生事業を実施する。



## 県有財産の適正管理と有効活用

(単位：千円)

所要経費の 要求額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
5,487,304	0	201,487	3,462,300	1,823,517

### 1 公共施設等の適正管理の推進 (5,436,709千円)

公共施設等の機能や安全性を確保するため、「兵庫県公共施設等総合管理計画」や各分野の個別施設計画に基づき、長期的視点から財政負担の軽減・平準化を図りながら、老朽化対策等を推進する。

【統一的な方針に基づく施設管理の推進】

区 分	主な取組内容	
施設総量の適正化	老朽化状況や県民ニーズ変化、将来にわたる地域活性化等の観点を踏まえ、総量の適正化のための施設集約等を推進	
老朽化 対策	計画修繕	概ね築20年を迎える施設等について、老朽化が軽微である初期段階での機能・性能の保持・回復を図る予防保全を実施
	長寿命化	概ね築45年又は耐震改修後20年を超え老朽化が進行する施設について、建物全体の機能・性能の向上を図る大規模改修を実施
	環境整備	経年による施設機能の老朽化等を踏まえた環境整備を実施
施設の有効活用	空きスペースが生じた施設等の有効活用を推進	

#### ◆本庁舎の再編・老朽化対策

県庁1号館・2号館からの令和7年度の退去開始に伴い、既存県施設を最大限活用するため、本庁舎の再編・老朽化対策工事を実施する。

○対象施設 県庁3号館、生田庁舎、公館

○実施内容 オープンオフィス化、屋上防水、外壁補修、電気設備・空調設備・配水管更新等

### 2 県有財産の有効活用 (50,595千円)

県保有の未利用財産の有効活用を進めるため、部局間の連携のもと、庁内での利活用、国や市町での有効活用、一般競争入札による売却などに積極的に取り組む。



## 公文書の管理・県政情報の公開等の推進

(単位：千円)

所要経費の 要求額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
278,762	0	154,944	37,500	86,318

### 1 適正かつ効率的な公文書の管理の推進 (235,107千円)

#### (1) 管理体制

実施機関の適正な公文書管理を確保するため、公文書管理規則等に基づき、総括文書管理者（公文書の管理に関する事務の総括）、文書管理者（所掌事務に関する公文書の実施責任者）など公文書の管理を担う職員を定めている。

#### (2) 公文書等の適正管理の取組

文書管理者による自己点検、職員の研修受講、文書管理システムの活用等による公文書の電子的管理の推進などにより、適切かつ効率的な文書の作成を図る。

また、公文書ファイルによる整理を行い、公文書ファイル管理簿を一般の閲覧に供し、インターネットで公表する。

### 2 県政情報の公開等の推進 (43,655千円)

公正で透明な県政を実現するための情報公開制度を運用するとともに、個人情報の保護に関する法律及び同法施行条例（R5.4月施行）に則って、個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益の保護を図る。

## 元町地域の魅力向上の推進

(単位：千円)

所要経費の 要求額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
7,295	0	0	0	7,295



### 1 元町周辺まちづくりの検討（7,295千円）

#### (1) 本庁舎の再編

県庁1号館、2号館等に配置している部局を県庁3号館、生田庁舎、公館、職員会館に移転のうえ、移転後は同庁舎を解体する方針であることから、令和7年度末の移転に向けて、県庁3号館、生田庁舎等の改修設計・工事及び県庁1号館、2号館の解体設計を実施する。これにあわせて、県庁3号館部局の一部は住吉及び中山手へ仮移転を行う。

#### (2) 県庁舎のあり方

フリーアドレスやペーパーレス、ストックレスに対応した「新しい働き方モデルオフィス」での検証結果や4割出勤の取組・財政状況等を踏まえて県庁舎のあり方を検討する。

#### (3) 元町周辺のまちづくり

元町高架下のリニューアルと連携した県庁周辺エリアでの定期的なイベント開催など、県庁舎のあり方と合わせた、元町の魅力向上に繋がるまちづくりを検討する。また、「元町周辺まちづくり研究会」において、県庁周辺から元町駅周辺、ウォーターフロントゾーンに至る南北の回遊性向上や、元町駅西口付近のバリアフリー化についての協議を進める。

##### ◆新しい働き方モデルオフィスの実施

<実施期間>

- ・令和5年6月5日～令和6年2月27日
- ※部単位で1ヶ月交代

<実施場所>

- ・生田庁舎5階

<実施概要>

- ・出勤率4割程度を想定
- ・オープンオフィス、フリーアドレスを採用
- ・デュアルモニターの設置やコピー機、書棚の台数縮減



##### 【今後の予定スケジュール】

区分	R5年度		R6年度		R7年度		R8～11年度		
	7～9月	10～12月	1～3月	上期	下期	上期		下期	
本 庁 舎 の 再 編	1号館、2号館、議場棟、 別館、西館		解体設計				退去	解体工事	緑地
	3号館		改修設計		退去	改修工事		入居	
	生田庁舎、公館、職員会館		改修設計		改修工事		入居		



## 私立学校教育の振興

(単位：千円)

所要経費の 要求額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
32,694,308	11,361,209	146,715	50,200	21,136,184

### 1 私立学校の運営支援 (21,753,227千円)

独自の教育理念と特色ある教育により公教育の一翼を担う私立学校の振興を図るため、私立の幼稚園・小学校・中学校・高等学校に対する経常費補助や耐震化の促進、特色ある教育活動等への支援を行うとともに、専修学校・各種学校の運営費等への補助を行う。

【経常費補助の概要】

事業名	事業概要	R6予算案 (単位：千円)
①私立学校経常費補助	私立幼稚園、小学校、中学校及び高等学校の経常的経費に対する補助	19,459,945
②私立専修学校等補助	私立専修学校・各種学校の学校運営の基盤強化、職業・専門教育の充実強化のための補助	642,000

### 2 私立学校生徒の就学支援の推進 (9,462,299千円)

#### (1) 私立高等学校等生徒の教育費負担の軽減

国の就学支援金に加え県単独の授業料軽減補助を実施し、所得区分に応じた授業料負担を軽減するとともに、奨学給付金や入学資金貸付制度により授業料以外の教育費負担の軽減を図る。

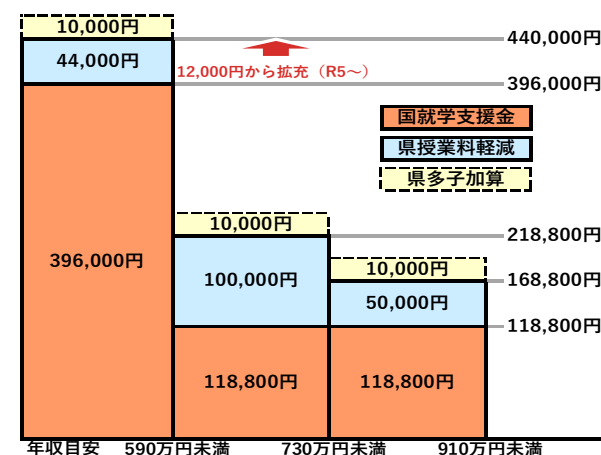
【現行制度の概要 (主なもの)】

- ・ 年収590万円未満世帯の授業料実質無償化
- ・ 子どもが3人以上の多子世帯への加算を実施

年収目安	国就学支援金	県授業料軽減	計
590万円未満	396,000円	44,000円	440,000円
590～730万円未満	118,800円	100,000円	218,800円
730～910万円未満	118,800円	50,000円	168,800円

- ※1 上表は、県内高校通学生の場合の補助額 (多子世帯の場合は1万円を加算)
- ※2 京都府内の高校通学生は県内高校の1/2 (専修学校・各種学校と同じ)
- ※3 その他の近隣府県 (大阪府、岡山県、鳥取県、滋賀県、奈良県、和歌山県、徳島県) 内の高校通学生は県内高校の1/4
- ※4 R5年度から、年収590万円未満に家計が急変した世帯についても、国就学支援金を支給

【授業料軽減制度の補助のイメージ】





## 私立学校教育の振興

### (2) 高等教育無償化 私立専修学校授業料等の負担軽減

国の高等教育の修学支援新制度により、私立専修学校において入学金・授業料の減免を行う。

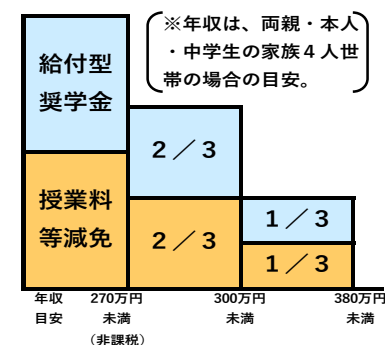
#### 【現行制度の概要】

私立専修学校に通う非課税世帯とそれに準ずる世帯の学生を対象に、①授業料・入学金の減免、②給付型奨学金の支給について、段階的な支援を実施

年収目安		約270万円 支給額：3/3	約300万円 支給額：2/3	約380万円 支給額：1/3
授業料・ 入学金減免	入学金	160,000円	106,700円	53,400円
	授業料	590,000円	393,400円	196,700円
給付型 奨学金	自宅通学	459,600円	307,200円	153,600円
	自宅外通学	909,600円	607,200円	303,600円

※給付型奨学金の支給は、日本学生支援機構が実施

#### 【支給対象と支給額のイメージ】



### 3 少子対策への支援 (1,478,782千円)

私立幼稚園における預かり保育や在宅乳幼児とその保護者に対する体験幼児教育等への取組みを支援するとともに、子ども・子育て支援新制度における幼保連携型・幼稚園型認定こども園においても、幼児教育水準を維持向上できるような特色教育等への支援を行う。



## 兵庫県公立大学法人への運営 支援と高等教育の負担軽減

(単位：千円)

所要経費の 要求額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
10,484,343	40,247	152,319	526,800	9,764,977

### 1 兵庫県立大学運営への支援（9,072,431千円）

少子化による大学間競争の激化に加え、地域創生の推進など新たな課題に対応するため、教育、研究、社会貢献の高度化等を図ることで、個性、特色豊かな魅力ある大学づくりを支援する。

#### (1) 教育、研究の充実強化

- ①グローバル社会で活躍できる専門人材の育成  
グローバル化や高度情報化社会の進展等に的確に対応した教育研究を実施
- ②姫路工学キャンパスの整備  
最先端工学研究、産学連携及び地域支援の拠点機能の向上を図るため、狭隘化、老朽化が顕著な姫路工学キャンパスを計画的に建替  
(R6：旧1号館・3号館等の解体工事 等)
- ③新長田ランチ（仮称）の設置  
県立総合衛生学院の移転に伴い新設される「新長田キャンパスプラザ」に、リスクリング教育等の拠点となる「新長田ランチ（仮称）」を設置  
(令和6年6月末竣工予定)

#### (2) 社会貢献の推進

県が進める「兵庫水素社会推進構想」の実現に貢献するため、産業界等と連携してグリーントランスフォーメーション（GX）に資する研究を促進し、地域企業へ成果を還元



【神戸商科キャンパス情報科学研究棟】



【姫路工学キャンパス新2号館】



【新長田ランチ(仮称)の外観イメージ】

## 兵庫県公立大学法人への運営 支援と高等教育の負担軽減



### 2 芸術文化観光専門職大学運営への支援（893,397千円）

芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出する専門職業人を育成し、あわせて地域に根ざした教育研究活動を推進することにより、地域及び国際社会に貢献する大学づくりを支援する。

#### (1) 実習等の教育の取組

授業の1/3（約800時間）を臨地実習に充て、地域や社会を舞台に現場の実践力を育成するとともに、国内外の第一線で活躍するアーティストとともに創作活動を実施



【キャンパス】



【観光交通業実習】



【講堂兼劇場】



【パフォーマンスアートプロジェクト】

#### (2) 地域連携の取組

多様な主体と協働する学術交流拠点「地域リサーチ&イノベーションセンター」において、大学教員の研究成果等を地域社会で活用し、地域課題解決に向けた取組を展開



【但馬空港チャーター便  
お出迎え事業】



【名草神社保存修理完成  
イベントでの構成劇】



【観光・文化振興に向けた  
フィールドワーク事業】



【朝来市連携事業  
（起業人財交流支援）】





# 兵庫県公立大学法人への運営 支援と高等教育の負担軽減

## 3 県立大学の授業料等無償化（518,515千円）

若者・Z世代を応援する取り組みとして、安心して結婚や出産、子育てといった将来設計を描くことができる環境を整える必要があることから、まず県として、兵庫の若者が学費負担への不安なく希望する教育を受けることができるよう高等教育への支援を先駆的に実施する。

### 【施策の方向性】

県が設置している県立大学（兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学）について、県内在住者の入学金及び授業料を学部・大学院共に所得に関わらず、無償化する。

### （1）県内在住者の入学金及び授業料の無償化 **新**

在学生と新入生との支援格差を考慮し、在学生（高学年）より段階的に実施

#### 【R6年度対象】

- 学部生 新4年生
- 大学院生 前期課程新2年生、後期課程新3年生

### （2）年収500万円未満世帯への授業料軽減（県独自支援）を継続

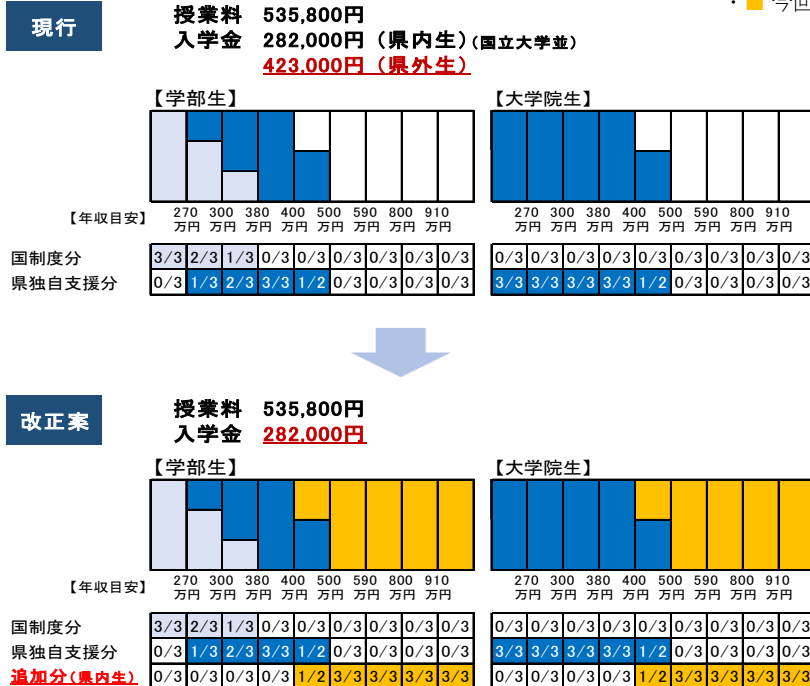
学部・大学院共に、県外生及び県内生に対するこれまでの支援を継続

#### ◆兵庫県立大学の将来構想策定の取組み

兵庫県立大学では、「選ばれる大学」となるべく、10年15年先を見据えた将来構想「兵庫県立大学ビジョン2036（仮称）」の策定（令和6年度予定）を進めており、県としても取組みを支援

### 〔新制度のイメージ図〕

- 国支援部分
- 県支援部分
- 今回拡充





## 県内大学との連携強化

(単位：千円)

所要経費の 要求額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
48,530	2,316	0	0	46,214

### 1 県内大学との連携・大学間交流の促進 (48,530千円)

#### (1) 県内大学間連携・海外大学との交流推進

県内大学との連携を強化するとともに、兵庫・アジア太平洋大学間交流ネットワーク「HUMAP」を基盤とした海外大学との学生、研究者交流を推進する。

##### 【主な事業内容】

- ・留学生への奨学金支給
- ・研究者への交流滞在費及び渡航費支給



【HUMAP事業における受入留学生の交流の様子】

#### (2) 大学間連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進

「大学コンソーシアムひょうご神戸」のネットワークを活用し、大学キャリアセンターや学生への県内企業への理解促進に向けた取組を展開し、大学生の県内就職を促進する。

##### 【主な事業内容】

- ・キャリアセンター職員向け合同企業説明会
- ・企業とキャリアセンター職員の意見交換会
- ・学生と若手社員による意見交換



【企業とキャリアセンター職員の意見交換会】

#### (3) リカレント教育の推進

大学や企業のリカレント教育に対する理解の促進、機運醸成に向けた取組を推進する。

##### 【主な事業内容】

- ・リカレントフォーラムの開催
- ・HPにおける県内大学のリカレント講座の情報発信



【リカレントフォーラムチラシ】



## 地域における躍動する兵庫の推進

(単位：千円)

所要経費の 要求額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
950,000	0	100,000	0	850,000

### 1 県民局・県民センターにおける施策の展開（950,000千円）

県民局・県民センターがマネジメント力を発揮し、地域の実情に応じた施策を機動的・積極的に展開する。

#### (1) 通常枠（850,000千円）

地域固有の課題への対応や地域資源を活用した取組により躍動する兵庫の実現に資する事業

#### (2) 公民連携・万博推進枠（100,000千円）

- ①地域の企業等との幅広い連携やネットワークを活かして、公民連携で取り組む地域活性化事業
- ②本庁と連携して、大阪・関西万博開催に向けた取組を推進するための事業

<参考> R5年度実施事業例

地 域	事 業 名
神 戸	六甲山の魅力づくりの推進
阪神南	尼崎運河クルーズ社会実験イベントの実施
阪神北	里山資源を活用した環境学習の推進
東播磨	ため池フィールドパビリオンプロジェクトの展開
北播磨	ゴルフツーリズムの推進
中播磨	岡山県・香川県との周遊クルーズ実証実験の実施
西播磨	西播磨ビジコン・ビジマッチ（ビジネスコンテスト・ビジネスマッチング）の実施
但 馬	「銀の馬車道・鉱石の道」を活かした誘客の促進
丹 波	シリ丹バレー構想の推進
淡 路	A W A J I 島博の実現に向けた取組の推進



【神戸：六甲山系に点在する茶屋】



【中播磨：クルーズルート例】

## 令和6年度予算要求一覧表

(一般会計)

(単位：千円)

課名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財源内訳				備考
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
総務課	1,210,924	1,158,081	0	114,147	0	1,043,934	
秘書課 (儀典室)	81,309	92,001	0	0	0	92,001	
広報広聴課	544,226	544,876	741	34,915	0	509,220	
市町振興課	5,050,634	3,736,307	82,966	2,815,535	0	837,806	
教育課	43,243,253	43,239,580	11,403,772	299,034	577,000	30,959,774	
法務文書課 (県民情報センター)	269,320	278,762	0	154,944	37,500	86,318	
人事課	241,661	242,448	0	16,942	0	225,506	
職員課	571,950	752,791	0	162,144	157,500	433,147	
管財課	6,256,448	5,738,400	0	226,224	3,462,300	2,049,876	
元町再開発課	60,382	7,295	0	0	0	7,295	
合計	57,530,107	55,790,541	11,487,479	3,823,885	4,234,300	36,244,877	

令和6年度予算要求額の概要（主要事項）

（総務部）

（単位：千円）

事 項	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（総務課） 地域躍動 推進費	1,002,294	950,000	0	100,000	0	850,000	県民局・県民センターにおける公民連携・地域活性化等に要する経費
（広報広聴課） 県広報活動費	456,444	452,643	0	34,029	0	418,614	各種県政広報に要する経費 1 新たな広報体制構築事業費 19,425 2 インターネット情報発信事業費 24,475 3 県政情報番組放送事業費 71,585 4 県政特別番組放送事業費 1,359 5 ラジオ放送事業費 3,144 6 「県民だよりひょうご」発行事業費 263,866 7 ユニバーサル広報費 6,716 8 (新) 多様な地域人材の参画による県政発信強化プロジェクト費 4,000 9 広報事務運営費等 58,073
広聴活動費	87,782	92,233	741	886	0	90,606	各種広聴活動に要する経費 1 県民相談運営費 54,677 2 県民総合相談センター運営費 20,890 3 広聴事務運営費等 16,666
（市町振興課） 市町行財政 調整推進費	582,355	732,853	80,454	102,977	0	549,422	市町の行政・財政及び税政の調査、助言等に要する経費 1 市町振興団体等補助事業費 5,376 2 住民基本台帳ネットワークシステム推進事業費 158,469 3 公的個人認証サービス推進事業費 81,260 4 躍動する兵庫応援事業費（県・市町連携枠） 300,000 5 (新) 衛星画像による広域漏水調査支援事業 160,908 6 市町行財政推進費等 26,840
兵庫県移譲事務 市町交付金	268,685	269,966	146	0	0	269,820	知事の権限に属する事務に係る事務処理の特例に関する条例により市町に移譲した事務に係る交付金

令和6年度予算要求額の概要（主要事項）

（総務部）

（単位：千円）

事 項	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
選 挙 啓 発 費	3,123	3,102	0	0	0	3,102	選挙に関する正しい知識を啓発する事業に要する経費 1 選挙出前授業実施事業費 326 2 県事務費等 2,776
市 町 村 振 興 宝 く じ 等 益 金 交 付 金	1,990,941	1,990,940	0	1,990,940	0	0	市町村振興宝くじ等益金交付金
（法務文書課） 文 書 事 務 費	226,303	235,107	0	153,931	37,500	43,676	文書收受発送、文書管理事務、県公報の発行、公文書の保管に要する経費
情報公開推進費	5,486	6,039	0	1,012	0	5,027	情報公開制度及び個人情報保護制度の運営に要する経費
法 務 事 務 費	36,054	36,017	0	1	0	36,016	訴訟事務等に要する経費 1 訴訟事務費、法務事務費 30,210 2 兵庫県法規データベースシステム事業費 4,693 3 行政不服審査会運営費 1,114
法人指導事務費	1,477	1,599	0	0	0	1,599	公益法人の監督等及び宗教法人の認証に要する経費 1 公益法人指導等事務費等 1,498 2 宗教法人指導等事務費等 101
（人事課） 人 事 管 理 ・ 職 員 研 修 費	114,881	111,785	0	16,942	0	94,843	公正で能率的な公務の執行及び県・市町職員に対する体系的な研修の実施に要する経費 1 自治研修所維持運営費 24,318 2 各種派遣研修費等 18,618 3 職員研修費等 37,142 4 民間人材の活用事業費 31,707
（職員課） 職 員 衛 生 管 理 及 び 健 康 増 進 費	224,230	241,271	0	120,135	0	121,136	職員の衛生及び健康管理に要する経費 1 職員健康管理推進事業費 238,737 2 こころの健康づくり推進対策事業費 2,534

令和6年度予算要求額の概要（主要事項）

（総務部）

（単位：千円）

事 項	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
職員福利厚生費	119,556	321,080	0	42,009	157,500	121,571	職員の福利厚生事業に要する経費 1 職員福利厚生施設維持管理費 309,245 2 職員相談事務費等 11,835
（管財課） 本庁舎及び地方 機関庁舎整備費	1,216,820	2,369,295	0	150,892	1,003,700	1,214,703	本庁舎及び地方機関総合庁舎等の整備に要する経費 1 本庁舎等維持修繕費 1,867,060 2 地方機関総合庁舎等維持管理費 461,620 3 庁舎等整備事業費 40,615
財産管理事務費	63,893	63,893	0	63,893	0	0	公有財産の管理、取得及び処分等に要する経費
公共施設等 適正管理事業費	4,727,000	3,056,782	0	0	2,458,600	598,182	公共施設等の適正管理に要する経費
（元町再開発課） 元町周辺 再整備事業費	60,382	7,295	0	0	0	7,295	元町周辺まちづくりの検討に要する経費

令和6年度予算要求額の概要（主要事項）

（総務部）

（単位：千円）

事 項	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（教育課） 私学教育 充実支援費	33,576,261	32,703,166	11,361,209	146,715	50,200	21,145,042	私学教育の充実支援に要する経費 1 私立学校の振興助成に要する経費 21,855,621 (1)私立学校経常費補助          19,459,945 (2)私立学校経常費特別補助等    879,429 (3)私立幼稚園等特別支援教育推進事業費等 524,620 (4)私立幼稚園等乳幼児子育て応援事業費 249,230 (5)私立学校施設耐震化補助事業費等 68,929 (6)専修学校等補助                  673,468 2 私立高等学校等就学補助    9,462,299 (1)私立高等学校等就学支援事業費 6,723,328 (2)私立高等学校等生徒授業料軽減補助等 914,189 (3)私立高等学校等奨学給付金    620,513 (4)入学資金貸付事業費等        52,525 (5)高等教育無償化による私立専修学校 授業料等軽減補助            1,147,124 (6)私立学校特別支援教育就学奨励費補助 4,620 3 私立学校教職員福利厚生団体等補助 1,385,246
兵 庫 県 公立大学法人 運営費交付金	9,170,037	9,656,911	40,247	152,319	0	9,464,345	兵庫県公立大学法人に対する標準運営費及び 特定運営費の交付金等 1 兵庫県立大学                    7,677,100 2 附属学校                        567,899 3 芸術文化観光専門職大学        893,397 4 (新) 県立大学授業料等無償化事業費 518,515
大 学 整 備 費	440,989	827,216	0	0	526,800	300,416	県立大学の施設の整備等に要する経費 1 姫路工学キャンパス整備費等    827,216



令和6年度予算要求額の概要（主要事項）

（総務部）

（単位：千円）

事 項	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
教育企画推進費	55,966	52,287	2,316	0	0	49,971	高等教育の振興に要する経費 1 HUMAP構想推進費 43,092 2 兵庫県公立大学法人評価委員会費 216 3 学生未来会議開催費 818 4 大学キャリアセンターと連携した県内大 学生地元就職促進事業費 4,633 5 リカレント教育推進プロジェクト費 500 6 大学連携事業企画調整費等 3,028

## 令和6年度予算要求一覧表

(特別会計)

(単位：千円)

課名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財源内訳				備考
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
庁用自動車管理 特別会計	172,225	163,743	0	163,743	0	0	
自治振興助成 事業特別会計	1,631,709	1,626,310	0	1,626,309	0	繰越金 1	
県有環境林等 特別会計	10,273	10,275	0	10,275	0	0	
計	1,814,207	1,800,328	0	1,800,327	0	繰越金 1	

令和6年度予算要求額の概要（主要事項）

（自治振興助成事業特別会計）

（単位：千円）（総務部）

事 項	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
（市町振興課） 自治振興助成 事業費	1,526,364	1,530,564	0	1,530,563	0	1 （繰越金）	地域住民の福祉の向上のために市町が行う自治振興事業の助成に要する経費 1 補助金 24,200 2 貸付金 1,500,000 3 事務費 6,364
生活排水処理 対策事業費	105,345	95,746	0	95,746	0	0	持続可能な生活排水処理事業の推進のために市町が行う助成に要する経費 1 補助金 95,746



兵庫県